



# 理科実験中は注意しよう！

～ 爆発音にも気をつけよう ～



平成20年度に医療費を給付した理科授業中の事故は3,500件、うちビーカーによる事故が176件、爆発による事故が8件ありました。

やけど、ガラス破片による刺傷もありますが、耳鳴りや眼のけがも発生しています。

学校種	傷病名	部位	災害事例
小学校	両眼結膜炎	眼部	理科の授業で、アルコールランプを使いロウソクのロウの溶け方を実験していた時、突然、ロウが爆発し飛び散った。その際、目に何かが入った。
小学校	熱傷Ⅱ度	手・手指部	理科の時間、実験中遊んでいて(酸素に火をつけたため)軽い爆発がおこり、火で直接左手親指を火傷した。
中学校	両音響外傷	耳部	理科の授業中、酸素と水素を使い爆発を想定した実験で、大きな爆発音を聞いた後、両耳の低音が聴き取りにくくなり、左耳に耳鳴りがした。
中学校	左内耳障害	耳部	理科の時間に、教室で水の電気分解の実験をした。マッチであわに点火したとき、爆発音で耳鳴りがし、一時的に耳が聞こえなくなった。それから、キーンという音がし、友達や自分の声が響くような状態で、左耳が痛くなった。また違和感もあり、気持ちも不安になった。
中学校	急性音響外傷	耳部	理科でペットボトルを発射させる実験を担当が行なった。耳をふさぐように指示されたが本人はふさがなかったため、耳鳴りが始まった。
中学校	顔面挫創	頬部	理科の授業中に、器具の三角フラスコが、爆発してしまい、その破片が、右目と顔面にあたってしまった。
高等学校	右)難聴	耳部	理科の授業中、薬品を使用し爆発をさせる実験をしていたところ、爆発音が発生した瞬間から耳鳴りがするようになった。
高等学校	化学皮膚炎(右手)	手・手指部	化学の授業にて、ナトリウムの性質を確かめる実験を行っていた。試験管の中に入れるナトリウムの量が多く、内圧が高くなり、試験管が割れ、右手の親指に薬品がかかり化学皮膚炎をおこした。